



DX推進は中小企業こそ重要！
生産性を向上させ、
お客様のサプライチェーン再構築に貢献します！

倉 浜松倉庫株式会社

浜松倉庫株式会社は、1907年（明治40年）の創業以来、基幹業務である倉庫・運送事業をベースにした総合物流事業に加えて、駐車場運営、地ビールレストランなど、幅広い事業を展開しています。その根幹にあるのは、「モノ、自動車、人を集積する拠点を提供することがこの地域の活性化につながり、その先に自社の発展がある」という想いです。

2022年8月に経済産業省の「DX認定」を受けましたが、これは2015年から若手管理職に当社の未来を考えさせたプロジェクトの成果です。デジタル化、システム化ありきではなく、当社の存在意義、業務の在り方を議論し、将来のコンセプトを考えた上で、それに必要な仕組みとしてデジタル化を進めてきたことが、今回の認定につながったと思います。

当社としては、「Digital Transformation」の中でも、「Transformation」に注力し、今後も、伝統を守りながら、時代の変化に対応した変革を進めていきます。



代表取締役社長
中山 彰 人

倉庫管理システムのポイント

- ① 全倉庫無線LAN化&全商品のバーコードによる管理体制の構築
- ② ペーパーレスにより情報をデータ化し、品質向上と情報のリアルタイム性を実現



DX推進で業務効率向上・働き方改革への対応を

2018年に倉庫業の基幹システムとなる倉庫管理システム（WMS）を刷新しました。特徴としては、①全倉庫無線LAN化し、全商品をバーコードによる管理体制を構築、②ペーパーレスにより情報をデータ化し品質向上と情報のリアルタイム性を実現したことです。

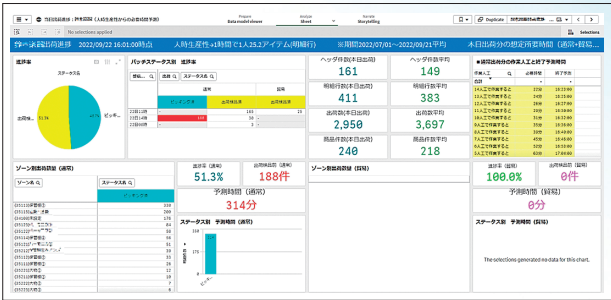
従来はお客様からの出荷指図はFAXでいただいたものを事務員が手入力していることが主流でした。これをお客様にも丁寧に説明させていただき様々なデータ連携の仕組みを構築したことで、入力作業が激減し、仕事のメインが入力業務からデータ分析及びお客様へのデータ提供業務に変革しました。

一方、倉庫現場では、女性リフトオペレーターが活躍しています。きめ細やかなリフトオペレーションに加え、HHT（ハンディターミナル）でのピッキングや検品に変わったことで、人為的なミスが激減し物流品質の向上につながりました。

また、無線LANを活用することで、リアルタイムに進捗が管理できるようになりました。管理職が各エリアの進捗を確認し、人員を再配置することでセンター全体の効率的な運営をしています。これらの成果として、生産性が大きく向上し残業時間の削減などの効果が出ています。



都田流通センター事務所



お客様ごとの業務進捗確認画面

DX推進はお客様のサプライチェーン再構築のために



お客様専用Webサイト

デジタル化を進めた副次的な効果として、倉庫内の様々な情報がデータで取得できています。例えば、海外からの入庫時の商品ダメージ状況や年間を通じての入出庫量、在庫の推移など、これらの情報をお客様にフィードバックさせていただくことで、お客様の物流改善につながることを期待しています。

また、2022年1月施行の電子帳簿保存法改正に伴う、電子取引情報の電子データ保存が義務化（2024年1月）されますので、いち早く、請求書や在庫報告書、入出庫報告書のデータ化を進めており、お客様専用のWebサイトを提供しています。

お客様とデータ連携を進めることが、お客様の「変革」をサポートし、ひいてはサプライチェーンの再構築につながっていければと考えています。

【会社概要】

- 社 名：浜松倉庫株式会社
- 代表者名：中山彰人
- 所 在 地：浜松市中区中央三丁目8番35号
- 創 業：1907年（明治40年）2月28日
- 資 本 金：5,445万円
- 事業内容：倉庫業、通運業、一般区域貨物自動車運送業、不動産賃貸業、レストラン事業
- U R L：https://www.hamamatsu-soko.co.jp/